

金ヶ崎町立幼稚園再編計画の推進方針

令和8年9月
金ヶ崎町教育委員会

1 はじめに

金ケ崎町教育委員会では、幼稚園への入園児数が減少し保育園への入園児数が増加している状況をふまえ、幼稚園児数を適正規模に保ちながら小学校就学前に身に付けるべき能力・資質を養うことができる環境を整備していくことや、家族構成の変化・保護者の就労環境の変化によって生じる教育・保育環境に対するニーズを分析し対応していくことを課題とし、平成30年10月に「金ケ崎町立幼稚園再編計画」（以下、「再編計画」という。）を策定しました。

2 目指す幼児教育

金ケ崎町における就学前教育で目指すもの

- ①幼稚園教育要領に示されている「資質・能力の3つの柱」（知識・技能の基礎、思考力・判断力等の基礎、学びに向かう力・人間性等）を、遊びを通して養い、身に付けることができる教育
- ②幼稚園教育要領に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を育てることができる教育
- ③生きる力を育み、健やかな成長を支援できる教育

3 再編計画における適正な人数規模等の基準

（1）適正な人数規模

平成29年度・30年度の有識者、保護者、町民、教育・保育関係者等を構成員とする会議、法的な基準等を踏まえ、町教育委員会として1学級あたり15人から25人程度と設定しました。

（2）異年齢学級の編制基準

3歳児と4歳児の合計が8人以下、または4歳児と5歳児の合計が16人以下となった場合に異年齢学級を編制することとしています。

（3）統廃合の基準

出生数等の状況を踏まえて園児数の増加の見込みがない場合、または恒常的に異年齢学級が解消されない見込みの場合、保護者や地域との協議を経て統廃合を決定・実施することとしています。

（4）再編基準に基づく異年齢学級編制の状況

六原幼稚園は、令和4年度から5年継続して異年齢学級編制対象園児数となっていますが、個別の支援が必要な園児に配慮を行ってきたため、実際に異年齢学級を編制したのは令和8年度からとなっています。

令和6年度末で閉園した三ヶ尻幼稚園は令和2年度から4年継続、令和3年度末に閉園した永岡幼稚園は平成29年度から5年継続して異年齢学級を編制していました。

①六原幼稚園

※太枠は異年齢学級編制の状況

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
3歳	10	9	10	10	4	8	5	5	4	6
4歳	10	10	11	9	10	4	8	5	5	4
5歳	11	9	11	11	9	10	4	10	4	5
合計	31	28	32	30	23	22	17	20	13	15

- ・六原幼稚園は、再編計画策定後5回目の異年齢編制対象園児数となっています。
- ・園児数に異動がない場合、令和9年度は5歳児4人＋4歳児6人＝合計10人となり、4・5歳児で異年齢学級を編制することになります。

②三ヶ尻幼稚園

※太枠は異年齢学級編制の状況

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
3歳	5	11	4	5	7	4	2	2	—	—
4歳	11	5	12	4	6	7	4	3	—	—
5歳	3	12	6	12	5	6	7	4	—	—
合計	19	28	22	21	18	17	13	9	—	—

③永岡幼稚園

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
3歳	4	2	8	2	1	—	—	—	—	—
4歳	8	4	3	9	2	—	—	—	—	—
5歳	7	9	4	3	8	—	—	—	—	—
合計	19	15	15	14	11	—	—	—	—	—

4 再編計画に基づく検討

(1) 令和8年度の町全体の子どもの数と北部地区、六原幼稚園の園児数の見通し

【令和8年4月1日現在】

学年	町全体	北部地区			
		総数	うち保育園	うち六原幼稚園	その他
0歳	67	10	2	—	8
1歳	66	13	10	—	3
2歳	95	17	13	—	4
3歳	102	17	13	3(6)	1
4歳	94	18	14	4	0
5歳	99	23	18	5	0

※①六原幼稚園の()は他地区からの入園者も含む全体数です。

※②その他には、在宅や他地区の幼稚園が含まれます。

(2) 六原幼稚園における今後の異年齢学級編制の見通し

入園見込数							
令和8年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	園児合計
六原幼稚園	—	3	4	6	4	5	15

入園見込数						卒園	
令和9年度	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小1	園児合計
六原幼稚園	—	3	4	6	4	5	14

入園見込数	卒園						
令和10年度	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小1	小2	園児合計
六原幼稚園	—	3	4	6	4	5	13

【検討結果】六原幼稚園（第一小学校区）では、出生数が減少し、かつ、恒常的に異年齢学級が解消されない見込となっていることから、住民への説明が必要な時期に来ています。

5 再編計画の推進に係る案

(1) 閉園時期等について

「就学前の教育・保育環境の確保」（幼稚園児数を適正規模に保つ必要性）と「在園児への配慮」（転園をする園児への影響）のバランスを考慮し、現3歳児の卒園を待って閉園する。

六原幼稚園を令和10年度末に閉園する。

(2) 園児募集について

園児募集は継続して行うが、令和10年度末の閉園により卒園前に転園することを保護者にご了承いただいた上で、入園を受け入れる。

六原幼稚園は、令和9年度・10年度の新入園児の募集を行う。

(3) 閉園後について

- 認定こども園南方幼稚園との統合とします。
- 閉園により令和11年度に転園する園児に配慮し園児服等購入補助を行います。
- 認定こども園南方幼稚園までの通園バスを運行します。（対象：2km以上の1号（教育）認定児童）